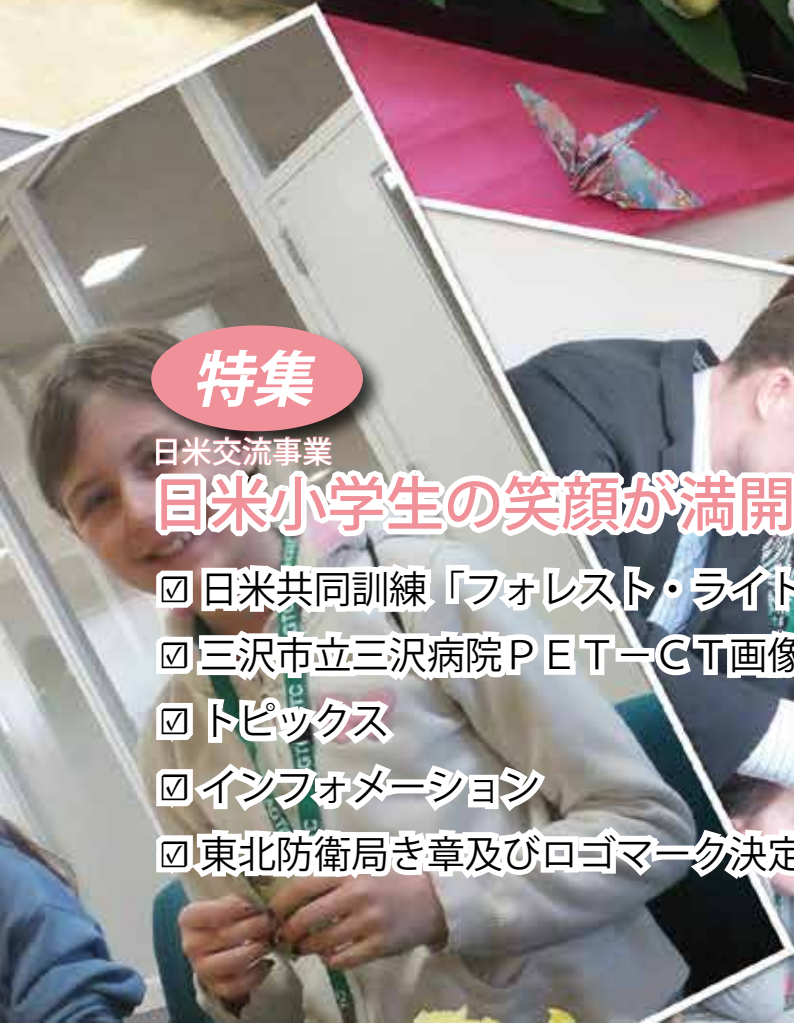


東北のかなめ

vol.30 (2015.3)



特集

日米交流事業

日米小学生の笑顔が満開

- ☑ 日米共同訓練「フォレスト・ライト2」
- ☑ 三沢市立三沢病院PET-CT画像診断センターオープン
- ☑ トピックス
- ☑ インフォメーション
- ☑ 東北防衛局き章及びロゴマーク決定

特集 日米小学生の笑顔が満開

日米交流事業



湖交流センター「宝湖館」（青森県東北町）で開催しました。

日米の親子ら約150人が集まり、子どもたちは万華鏡作りや折り紙などに挑戦し、保護者たちは地元東北町の特産品を使って料理しました。

昼食時には、琴の演奏や東北町のゆるキャラ「しじみーる」のダンスを楽しみながら保護者たちが作った手まり寿司に舌鼓を打ちました。

昼食後には、来賓や日米の子どもたちが餅つきを体験し、閉会式では「万華鏡を作ったり、琴で「きらきら星」を演奏できたりして、とても楽しかった」など日米の子どもたちが感想を述べました。

東北防衛局としては、在日米軍及び地域住民との間の相互理解の深化の一助となるよう、今後さまざまな形で日米交流事業を実施していく予定です。

また、2月28日には、東北町内及び米軍三沢基地内の日米の小学生を対象とした、日米交流事業「ひな祭り in TOHOKU Town」を小川原

1月17日、三沢市内及び米軍三沢基地内の日米の小学生を対象とした、日米交流事業「第3回MISAWAアイスホッケー」を三沢アイスアリーナ（青森県三沢市）で開催し、日米合わせて21チーム、約200人の子どもたちが参加しました。

アイスホッケーとは、子どもたちがにんくの形をしたヘルメットをかぶり、長芋を模したスティックを持ち、ホッケーのようなパックをゴール目指して叩くアイスホッケーのことで、いずれの道具も三沢市の特産物を象徴するものです。日米の子どもたちがこれらを用いてスケートリンク内を夢中で走り回る姿はとても愛くるしく、監督や観客の応援にも熱が入りました。



日米共同訓練



輸送ヘリから降り立つ陸上自衛官（ヘリボン訓練）

日米共同訓練「フォレスト・ライト2」が1月28日から2月8日までの12日間、岩手山演習場（岩手県滝沢市及び八幡平市）及び岩手駐屯地（岩手県滝沢市）で実施され、日本側からは陸上自衛隊第9師団第21普通科連隊（秋田）等から約250名、米側からは第3海兵師団第4海兵連隊第1大隊（沖縄）等から約270名が参加しました。

場内に現地連絡所を設置しました。現地連絡所は訓練の円滑な実施を図る上で日米共同調整所に設置し、調整会議に参加するなどして、米軍、自衛隊、地方自治体及び関係機関との連絡調整や情報収集を行いました。

この訓練は、日米の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図ることを目的とし、戦闘射撃訓練、ヘリボン訓練、市街地戦闘訓練等を行いました。

東北防衛局は、今後とも日米共同訓練の実施に際しては地元との連携を密にし、万全の態勢で望んでいきたいと考えています。

共同訓練の期間中においては、1月30日、31日の両日に報道関係者及び自治体関係者等を対象に訓練の全般説明及び訓練の公開が行われました。

同訓練は、岩手県、滝沢市、八幡平市及び盛岡市等の関係機関並びに周辺にお住まいの方々の御理解と御協力を得て、事故なく全日程を終了することができました。



報道関係者への訓練の公開

青森県南地域におけるがん診断の更なる充実へ

1月31日、三沢市立三沢病院（青森県三沢市）において、PET-CT画像診断センターオープンセレモニーが開催されました。

このセンターは、がん健診で最も重要となる、がんの早期発見のため、青森県南地域では初となるPET-CTを導入し、早期の小さながんの発見や部位の正確な特定などの診断が高い精度でできるようにしました。

東北防衛局では、今後、基地の安定的な運用に向け、地元の皆様との生活の安定及び福祉の向上に一層取り組んで参ります。

このセンターは、がん健診で最も重要な役割を果たして参るとともに、これまで尽力を賜った方々に感謝申し上げます。と式辞が述べられ、齋藤局長からは、基地の安定的な運用に感謝を述べるとともに、「今後とも、地元の皆様の生活の安定及び福祉の向上に一層寄与できるよう積極的に取り組んで参りたい。」と祝辞が述べられました。



導入されたPET-CT画像診断装置

種市一正三沢市長、小比類巻雅彦三沢市議会議長、齋藤雅一東北防衛局長など多数の方々が出席し、種市市長からは、「健康で助け合いうまちづくり」を目指す三沢市の地域医療の充実に努めながら、この地域にお



来賓によるテープカット



三沢市立三沢病院（左手前がPET-CT画像診断センター）

三沢市立三沢病院PET-CT画像診断センターオープン

米軍航空機事故通報訓練を実施 ～三沢市初参加～

2月23日、米軍航空機事故が万が一発生した場合における関係機関相互の迅速かつ確かな情報の伝達を目的とした通報訓練を実施しました。

同訓練には、防衛省、東北防衛局、三沢防衛事務所のほか、防衛省以外の関係機関としては今回初めて、三沢市が参加し、「米空軍三沢基地所属のF-16戦闘機1機が、米軍三沢基地の施設・区域外に部品のようなものを落下させた」との想定で行いました。

事故発生後、直ちに、齋藤雅一局長から防衛大臣役などへ報告し、また、三沢防衛事務所から三沢市等関係機関に対して迅速な情報提供を行い、通報体制が関係機関相互の間で迅速かつ効果的に機能するかなどを確認しました。

また、三沢市としては、本訓練に初めて参加し、防衛省との連絡体制について再確認するとともに、事故の想定に応じた必要な情報と行動について、検証することができたとのことでした。

訓練終了後、齋藤局長は、関係職員に対し「この

ような訓練を行うことによって、経験値を増し、更に練度を上げていくこと」を指示しました。

今年度において、同種訓練は3回目となりますが、東北防衛局としては、今回の訓練成果を今後の通報訓練等に活かすとともに、関係機関の参加を呼びかけていくなど、米軍航空機事故が発生した場合の対応に遺漏なきよう、職員の練度の維持及び向上に積極的に取り組んで参りたいと考えております。



事故の情報を受ける三沢市職員
(提供：三沢市)

調達部合同研修会を実施 ～工事監督者の技術力向上を目指す～

1月19日及び3月2日に工事目的物の円滑な完成に向けた工事監督者の横断的な合同研修を実施し、工程上の課題及び工事に係る問題意識の共有を図ることなどを目的として工事監督者の技術力向上に係る合同研修を開催しました。

今回は、航空自衛隊松島基地（宮城県東松島市）の工事現場を対象として、総勢52名の調達部職員が参加しました。

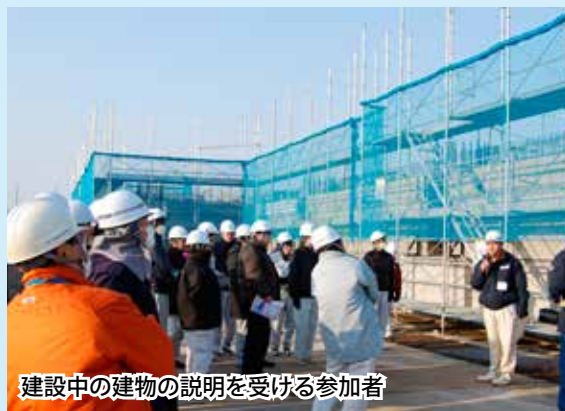
1回目の研修では、小関総括建設監督官を講師に、工事監理者及び工事受注者の協力を得て、施工上の問題点の抽出・各職種間の横断的な調整の必要性について討議を行い、2回目の研修では工事監理者及び工事受注者との意見交換が行われました。

研修に参加した若手職員からは、現場と工事監督との意思の疎通を密に図ることや多職種の関連工事についても関心を持って業務にあたるのが重要であると認識したと感想が寄せられました。

東北防衛局では、今後もこのような研修を定期的で開催し、若手職員の技術向上を図ります。



完成した建物の説明を受ける参加者



建設中の建物の説明を受ける参加者

防衛セミナー開催

3月13日、東松島市コミュニティセンター（宮城県東松島市）で防衛セミナーを開催し、阿部秀保東松島市長をはじめ約120名の方にお越しいただきました。

セミナーでは、はじめに航空自衛隊北部航空方面隊副司令官の増子豊空将補が『今後の航空自衛隊』と題し、我が国を取り巻く情勢、航空自衛隊の現状と防衛大綱、中期防衛力整備計画に伴う航空自衛隊の今後について講演されました。

続いて、航空自衛隊第4航空団司令（兼）松島基地司令の有馬龍也空将補が『松島基地「これまで」と「これから」』と題し、松島基地の東日本大震災の被災からの復旧・復興の様子と今後の展望について講演されました。

質疑応答では、松島基地航空祭の再開について質問があり、有馬空将補から「来場者の安全が確保されれば」と回答があったほか、聴講者からは、「我が国周辺の脅威を感じるとともに、日本の防衛力の頼もしさを感じることができた。」「震災時における松島基地の役割を改めて感じる事ができた。」などの感想が寄せられました。



来賓挨拶をする阿部東松島市長



質疑に答える
左から有馬空将補、増子空将補、齋藤局長

東北防衛施設地方審議会開催

平成26年12月11日、航空自衛隊松島基地（宮城県東松島市）において、平成26年度東北防衛施設地方審議会が開催されました。

本審議会には、同年11月1日付けで新たに任命された委員10名のうち8名と、当局から齋藤雅一局長以下11名が、それぞれ出席し、出席者の紹介、局長からの挨拶、新会長の互選（茂木委員を選出）及び挨拶等が行われました。

今回の審議会においては、局長からの諮問事項はないものの、防衛行政や防衛施設に対する各委員の認識をなお一層高め、理解を深めていただくため、局長から平成26年版防衛白書の説明及び質疑応答が行われました。

また、本審議会に先立ち、松島基地司令立会いの下、同基地の概況説明が行われた後、ブルーインパルス、搜索機U-125A及び救難機UH-60Jの視察、ベースオペレーション屋上での同基地の震災復興状況の視察等が行われました。

当日は、会長をはじめ各委員は、同基地の隊員等に対し熱心に質問されるなど、自衛隊施設や自衛隊の活動等に対する知見をなお一層広めておりました。



防衛白書の説明を受ける委員



ブルーインパルスを背景に

トピックス

一級建築士3名誕生

平成26年「一級建築士」試験において、全国で30,330人（「学科試験」「設計製図の試験」からの受験者との合計）が受験し、合格者数3,825人（合格率12.6%）の難関試験に、当局の調達部職員から3名が合格しました。

この資格は、建築物の建設に先立ち、特定政庁に申請を行うために必要不可欠であるとともに、防衛施設を建設する上で必要な知識・技能を高い水準で身に付けている証となります。

3名の職員が、多忙な日常業務の傍らに難関の一級建築士を取得したことは、他の職員の模範となることなどから、平成27年1月20日、齋藤雅一東北防衛局長から第5級賞詞が贈呈されました。

一級建築士合格者

調達計画課 課長補佐 高橋 司
 建築課 建築第2係員 青野 弘和
 建築課 建築第3係員 東 有希子



一級建築士に合格した3名の防衛技官

一級建築士取得のために努力したことは、とにかく勉強の時間を確保することで。極端に言えば、仕事・食事以外の時間は、常に机に向かって試験勉強に費やしていたと思います。50歳を越えて一級建築士を目指すには、肉体的・精神的にも厳しく、若いときに受験すればと今更ながら思います。

我々、防衛技官にとって、有資格者となることは業務上においても必要性があると思いますので、今後も更なる資格取得をしたいと思っています。

調達計画課 課長補佐 高橋 司



心臓の位置を説明する消防隊員



心臓マッサージとAEDを組み合わせた訓練

普通救命講習Ⅰを受講 ～日常生活の方が一に備えて～

3月3日、仙台市消防局宮城野消防署から講師の派遣を受け、普通救命講習Ⅰを開催しました。

講習は、齋藤雅一東北防衛局長をはじめとする24名の職員が参加し、講習の冒頭に「救助者への初期処置は、早ければ早いほど救命の可能性が向上する。」との応急手当の重要性について講義を受け、様々な訓練用資機材を使い、3時間にわたって救命に必要な応急手当の方法について学びました。

受講者の約8割が初めて操作することとなるAED（自動体外式除細動器）の講義では、緊張した面持ちで顔にうっすらと汗を浮かべながらAED装置を操作している職員も見受けられましたが、複数回の操作で慣れるに従い、スムーズで的確な心肺蘇生法を身に付けていました。

今後とも、東北防衛局では定期的に普通救命講習を開催し、職場内はもとより、日常生活における方が一の際に地域に貢献できる職員の育成に努めていくこととしています。

人材確保施策 ～平成27年度採用試験に向けて発信～

3月2日、人材確保施策の一環として、人事院が主催する「仙台OPENゼミ」に陸上自衛隊東北方面総監部と合同で参加し、仙台第3合同庁舎（宮城県仙台市）において、業務説明や職場見学等を実施しました。

当日は、東北防衛局などの役割や業務内容等を説明した後、執務室を見学してもらい、その後、各機関で質疑応答の時間を設け、防衛省の業務内容や採用等に関する個々の質問に答えました。

また、3月7日には、東北大学（宮城県仙台市）において開催された「キャリア就職フェア」に参加しました。はじめに全体会で防衛省のPRを行い、その後各参加団体のブースに分かれ、業務説明と質疑応答を行いました。質疑応答では、東日本大震災時において東北防衛局が果たした役割や採用実績など様々な質問があり、職員の体験談を織り交ぜながら防衛省・東北防衛局の役割等を説明しました。

平成27年度国家公務員採用試験等の日程は以下のとおりです。多数の応募をお待ちしております。



仙台OPENゼミでの質疑応答



キャリア就職フェア全体会

平成27年度国家公務員採用試験（主な試験）

試験名	申込受付期間	第1次試験日	第2次試験日	最終合格者発表日
総合職試験 (院卒者試験) (法務区分を除く。)	4月1日(木)～8日(水)	5月24日(日)	筆記試験：6月28日(日) 政策課題討議試験・人物試験： 7月13日(月)～17日(金)	7月31日(金)
総合職試験 (大卒程度試験) (教養区分を除く。)			筆記試験：6月28日(日) 人物試験： 7月2日(木)～17日(金)	
一般職試験 (大卒程度試験)	4月9日(木)～20日(月)	6月14日(日)	人物試験： 7月22日(水)～8月10日(月)	8月25日(火)
一般職試験 (高卒者試験)	(インターネット) 6月22日(月)～7月1日(水) (郵送・持参) 6月22日(月)～24日(水)	9月6日(日)	人物試験： 10月14日(水)～10月23日(金)	11月17日(火)
一般職試験 (社会人試験(係員級))				
総合職試験 (院卒者試験) 法務区分	9月8日(火)～15日(火)	9月27日(日)	政策課題討議試験・人物試験： 10月8日(木)・9日(金)	10月16日(金)
総合職試験 (大卒程度試験) 教養区分	8月5日(水)～19日(水)		政策課題討議試験・ 企画提案試験・人物試験： 11月10日(火)～18日(水)	12月11日(金)

平成27年度防衛省専門職員採用試験

試験名	申込受付期間	第1次試験日	第2次試験日	最終合格者発表日
防衛省専門職員採用試験 (大卒程度試験) (語学職) (国際関係職)	4月1日(水)～17日(金)	6月7日(日)	7月13日(月)～17日(金)の うちの指定する日	8月5日(水)

試験の詳細については、人事院ホームページ(<http://www.jinji.go.jp/top.htm>)、防衛省ホームページ(<http://www.mod.go.jp/>)をご確認ください。

東北防衛局が送るラジオ番組

東北防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、防衛政策や自衛隊・米軍の活動状況等について、短時間で分かりやすく伝えるラジオ番組、「日本の防衛Q&A」などを以下のとおり放送しております。4月の放送では、「防衛省設置法改正案」について放送する予定で、過去には、防衛局で働く若手職員による業務内容の説明や、防衛大臣へのインタビューなども放送しており、今後も、基本的な防衛政策からニュースを賑わせている防衛課題まで、様々な話題を幅広く放送する予定です。是非ともお聞きください。



「日本の防衛Q&A」放送日

青森県

放送局	周波数	放送日時
FM Azur	76.2MHz	最終火曜日 9:35
FMおしよがわら	76.7MHz	第三水曜日 18:06
FMアップルウェーブ	78.8MHz	第三土曜日 10:15
FM JAIGO WAVE	76.3MHz	第一月曜日 12:20
Be FM	76.5MHz	毎週土曜日 11:50

岩手県

放送局	周波数	放送日時
ラヂオもりおか	76.9MHz	第一土曜日 7:30
宮古ハーバーラジオ	82.6MHz	第二火曜日 12:30
FM One	78.7MHz	第二月曜日 11:45
奥州エフエム	77.8MHz	最終土曜日 10:50

秋田県

放送局	周波数	放送日時
秋田コミュニティ放送	76.5MHz	第一金曜日 13:20
エフエム椿台	79.6MHz	第一、第二月曜日 12:00
FMゆーとびあ	76.3MHz	第一土曜日 12:47

宮城県

放送局	周波数	放送日時
はっとエフエム	76.7MHz	第一土曜日 14:49
ラジオ石巻	76.4MHz	第二水曜日 14:30
BAY WAVE	78.1MHz	第一月曜日 9:45
fm いずみ	79.7MHz	最終水曜日 14:00
ラジオ3	76.2MHz	第四水曜日 15:40
エフエムいわぬま	77.9MHz	第一火曜日 8:45

山形県

放送局	周波数	1月
ハーバーラジオ	76.1MHz	第一日曜日 12:00
ラジオモンスター	76.2MHz	第三木曜日 9:30
おらんだラジオ	77.7MHz	第四火曜日 13:30
エフエムNCV	83.4MHz	第四土曜日 9:50

福島県

放送局	周波数	放送日時
FM POCO	76.2MHz	毎週水曜日 12:58
FM モットコム	77.7MHz	第一金曜日 13:10
FM きたかた	78.2MHz	毎週土曜日 9:00
エフエム会津	76.2MHz	第一火曜日 18:20
FM いわき	76.2MHz	第一水曜日 8:28

その他の番組については、以下のホームページで確認してください。

○自衛隊インビテーション (自衛隊宮城地方協力本部) <http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/inbite/inbitehon.html>

○自衛隊百科 (ラジオモンスター) <http://www.fm762.co.jp/>

東北の主な自衛隊広報行事

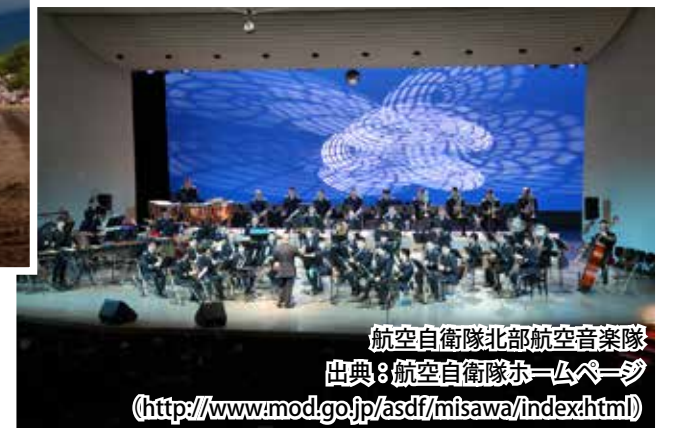
自衛隊 (東北管内) が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。足を運んでみてはいかがでしょうか。

区分	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
地本	4月11日(土)~12日(日)	海上自衛隊練習艦隊一般公開	八戸港八太郎岸壁 (青森県八戸市)	自衛隊青森地方協力本部広報室 017-776-1594 (6101)
陸	4月12日(日)	船岡駐屯地創立56周年及び第2施設団創隊54周年記念行事	船岡駐屯地 (宮城県柴田町)	船岡駐屯地司令職務室 0224-55-2301 (207、208)
陸	4月12日(日)	郡山駐屯地創立62周年記念行事	郡山駐屯地 (福島県郡山市)	郡山駐屯地広報班 024-951-0225 (283、284)
陸	4月12日(日)~19日(日)	福島駐屯地花見一般開放	福島駐屯地 (福島県福島市)	福島駐屯地広報室 024-593-1212 (204、205)
陸	4月18日(土)	仙台駐屯地さくら祭	仙台駐屯地 (宮城県仙台市)	仙台駐屯地司令職務室 022-231-1111 (3861、3662)
陸	4月19日(日)	第6師団創立53周年及び神町駐屯地創立59周年記念行事	神町駐屯地 (山形県東根市)	第6師団司令部広報室 0237-48-1151 (5373、5374)
陸	4月19日(日)	霞目駐屯地創立58周年記念行事	霞目駐屯地 (宮城県仙台市)	霞目駐屯地広報室 022-286-3101 (302、303)
陸	4月19日(日)	弘前駐屯地創立47周年記念行事	弘前駐屯地 (青森県弘前市)	弘前駐屯地広報室 0172-87-2111 (206~208)
陸	4月25日(土)	八戸駐屯地創立59周年記念行事	八戸駐屯地 (青森県八戸市)	八戸駐屯地司令業務室 0178-28-3111 (2065~2067)
陸	4月26日(日)	多賀城駐屯地創立61周年記念行事	多賀城駐屯地 (宮城県多賀城市)	多賀城駐屯地広報室 022-365-2121 (208、607、608)
空	5月3日(日)	町村合併10周年記念コンサート	東北町町民体育館 (青森県東北町)	東北町分屯基地 0175-63-3235
空	5月24日(日)	自衛隊音楽隊演奏会(仮)	一戸町コミュニティセンター (岩手県一戸町)	自衛隊岩手地方協力本部 019-623-3236
空	5月30日(土)	ふれあいコンサート	八戸市南郷文化ホール (青森県八戸市)	自衛隊青森地方協力本部 017-776-1595
陸	6月7日(日)	岩手駐屯地創立58周年記念行事	岩手駐屯地 (岩手県滝沢市)	岩手駐屯地広報班 019-688-4311 (255、256)
陸	6月13日(土)~14日(日)	第9師団創立53周年及び青森駐屯地創立64周年記念行事	青森駐屯地等 (青森県青森市)	第9師団司令部広報室 017-781-0161 (6054~6056)
空	6月27日(土)	航空自衛隊 北部航空音楽隊コンサート	男鹿市市民文化会館 (秋田県男鹿市)	自衛隊秋田地方協力本部 018-823-5404
空	6月28日(日)	航空自衛隊 北部航空音楽隊コンサートin美郷	美郷町公民館 (秋田県美郷町)	自衛隊秋田地方協力本部 018-823-5404

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。



昨年の岩手駐屯地創立記念行事の様子



航空自衛隊北部航空音楽隊
出典：航空自衛隊ホームページ

(<http://www.mod.go.jp/asdf/misawa/index.html>)

東北防衛局き章及びロゴマーク決定

東北六県、調和と成長などを象徴

2月2日、第12回東北防衛局広報委員会（委員長・齋藤雅一局長）において、東北防衛局き章及びロゴマークが決定されました。

東北防衛局き章及びロゴマークは、東北防衛局に対する国民の理解の深化及び職員の士気高揚を図ることを目的として、東北防衛局の役割を視覚的に象徴する作品を職員から募集し、応募されたき章22作品、ロゴマーク37作品から、全職員により上位各5作品を選出した後、広報委員会での議論を経て、企画部地方調整課 山下 勝憲 総務係長が応募した作品が東北防衛局き章及びロゴマークとして決定されました。

き章及びロゴマークは、東北防衛局の名称を用いる印刷物や広報活動などにおいて幅広くかつ積極的に使用されます。また、防衛施設周辺対策事業により交付した補助金等の政策の広報に使用する場や、当局の施策遂行に資することを主たる目的として使用する場合は、使用申請をすることにより、き章及びロゴマークを使用することができます。使用にあたっては、東北防衛局総務部報道官（電話：022-297-8208）までお問い合わせください。

東北防衛局き章



東北防衛局ロゴマーク



き章は、旗やワッペンなど比較的大きなものに使用し、ロゴマークは、広報紙や封筒などの比較的小さなものに使用

【コンセプト】

東北六県がそれぞれに有する緑濃く自然豊かな平野と山並みを集合させ、輝く星・雪の結晶を連想して星形に抽象化した。また、緑色は、活力のある成長の色で、濃い緑色は伝統を守り、地域との調和を重んじることを、淡い緑色は東北防衛局が成長し続けるとの意味も込められている。

星形の東北六県を取り囲むオレンジ色の環は、全職員が一致団結し、「守り」構える東北防衛局の姿勢と、地域との連帯を表すとともに、赤色と黄色の中間色で、赤色のように外交的で、かつ黄色のように軽快で活動的な組織であれとの願いが込められている。

編集後記

内閣府政府広報室による「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」（平成27年1月調査）が公表されました。

世論調査では、自衛隊に対する印象について「良い印象を持っている」（「良い印象を持っている」又は「どちらかといえば良い印象を持っている」と答えた方の合計）と答えた方の割合が前回調査（平成24年1月調査）から0.5ポイント増の92.2%となりました。特に東北地域ブロックでは、「良い印象を持っている」（同上）と答えた方の割合が94.2%と他の地域ブロックと比べ最も高い割合となりました。

東北地方の皆様が、自衛隊に対して良い印象を持っているんだと安心した反面、良い印象をお持ちの皆様の期待を裏切ることはいけませんと改めて認識しました。

東北防衛局では、引き続き皆様のご理解・ご協力を得るべく広報活動にも邁進していく所存ですので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。